

ネットワークの広がり

団体の連携による“海なし県”の “海ごみ学習”

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会

岡谷こどもエコクラブ

平成12年の発足以来、体験を通して環境問題に関心を持ってもらうことを目的とし、市内の小学1年生から6年生までを対象に、様々な企画を提供しています。

これまで、水生生物や野鳥の観察会、エコクッキング、環境に配慮した企業の見学など、多様なプログラムを実施し、子どもたちの環境に対する興味・関心を広げてきました。

特に近年は、海と日本プロジェクトin長野と連携した河川湖沼の漂着ごみ問題を取り扱った企画を実施しており、本年は伊勢湾の答志島で、長野県ほか多くの地域から集まったボランティアや大学生たちと一緒に海岸の清掃を行い、地域や世代を超えた取り組みを体験しました。

海と日本プロジェクトin長野
(事務局：長野放送)

連携・支援

連携

鳥羽市ならびに
鳥羽市立海の博物館

支援

岡谷こどもエコクラブ
(事務局：岡谷市)

連携

支援

連携・支援

22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
ならびに学生部会

連携

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会

全国川ごみネットワーク

動画挿入：～海なし県の子ども達が学んだ海洋ごみ学習～



団体連携の効果

【岡谷こどもエコクラブ】

【下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会】

- ・海のごみは様々な河川等から流出したもので、長野県内からも流出しているという事を現地で伝えたいという思いはあったが、単独では実行できなかった。
- ・奈佐の浜のごみの多さ、そして奈佐の浜のために各地から多くの人が集まっているということに衝撃を受けていた。
- ・学生部会のお兄さん、お姉さんと一緒に活動したことも子どもたちには印象深く、多様な世代の交流は良い意味で刺激になった。

【22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会】

- ・上流域に暮らす人々の意識が高まることは、答志島に流れ着くごみの量を減らすことにつながる。海のごみが減る。
- ・これまで年長者に引っ張ってもらっていた若い世代が、自分たちより年下の子供たちを引っ張っていくという経験は、次の世代へ引き継いでいくことの礎となった。